

さあ、しゅっぱつだよ！



しょうがく1ねんせい くみ ばん

なまえ
自分で書いた字が残ることは、将来の振り返りの際、多くのことを感じることができます。ひらがなの学習後、自分で名前を書かせましょう。

学校教育目標や育成したい資質・能力を踏まえ、1年生の目指す姿を配付前に教職員が記入しましょう。1年生がイメージできるような具体的な姿で示すことがポイントです。配付時には、教職員の思いを児童に説明しましょう。

どんな1ねんせいになりたいかな？ *どんな1ねんせいになりたいか！*

年度当初のため、字を書くことは難しいことが考えられます。「絵を描く」や「写真を貼る」といった工夫をしましょう。
作成の際は、学級活動などで「どんな1年生になりたいか。」について、意見交流をすることでイメージを膨らませておいてから、絵を描かせることも考えられます。

1がっき

がんばったことやたのしかったことをかきましよう。

頑張ったこと、楽しかったことにあまりこだわらず、児童が書きたいことを尊重して書かせ、肯定的に評価しましょう。
1年生の1学期に書いた字が残っているということが、ここでは一番大切です。あまり欲張らず、振り返って気づきを書いたということを認め、励ます声掛けをしましょう。

せんせいからのメッセージ

2がっき

がんばったことやたのしかったことをかきましよう。

せんせいからのメッセージ

先生や家の人から児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らのよさや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めたりすることにつながります。十分に振り返りが書けなかった児童に対しては、児童自身が自覚できなかったよさや可能性などをメッセージとして送ることで、将来、自分の成長を振り返ることができます。

()より

()より

()より

1ねんかんをおもいだしてかきましよう。

1ねんせいでがんばったことやたのしかったことをかきましよう。



書くことが思い浮かばない場合、頑張ったこと、楽しかったことに加え、「1年生でできるようになったこと」等を記入することを児童に促しましょう。
書くことが苦手な児童は、空欄が多くできてしまうこともあります。「〇行以上書きましよう。」といった形で指導するのではなく、児童自身がしっかり振り返ったということであれば、肯定的に評価するようにしましょう。

えでかきましよう。

こんな2ねんせいになりたいな

本シートの児童自身の振り返りも参考にさせながら、次年度の目指す姿をイメージさせましよう。「2年生の自分の姿を想像してみる」ということが大切です。学級活動等で意見交流することもよいアイデアです。



えでかきましよう。

せんせいからのメッセージ

おうちのひとなどからのメッセージ

マスコットキャラクターのチ〜ノです！
「キャリア・ログ」にとうじょうして、みんなのがんばりをおうえんするね！

